

1 自己評価

I 評価結果 確かな学力の定着【A・B】 キャリア教育の充実【A・B】 安全で安心な学びの場づくり【B・B】

A：当初の見込みを越える取組を行うことができ、目標を上回る達成状況である。 B：当初の見込みを越える取組を行うことができ、ほぼ目標どおりの達成状況である。

II 分析・改善方策

1 確かな学力の定着

- (1) 通信制課程における個別最適な学びと協働的な学びの在り方を研究し、身に付けさせたい力の確実な定着を目指す。
- ・教員全員が研究し、多くの科目で授業実践があった。学校自己評価アンケート（以下、「アンケート」という。）「指導や評価について教員間で検討の機会がある」85%（R4 90%）の教員が「当てはまる」と回答している。
 - ・特別活動を中心として、集団が苦手な生徒へ配慮しながら、仲間意識や自己肯定感を高める協働的な学びに挑戦している。
- (2) 生徒の自己管理を支援する手段の充実を図り、自ら学びに向かう力を育成する。
- ・年度はじめに、Google アカウントの登録サポート期間を設け、教室に係が待機して支援した。生徒が自分の端末で学習の進捗を確認できるシステムが、浸透しつつある。今年度 Google アカウントを利用した生徒 64%。
 - ・生徒の状況に応じて利用できるよう、放送視聴制度や協力校面接を計画し、機関紙や掲示物などで周知した。
 - ・アンケート(生徒)の肯定回答「学習して実力がつく」94%（R4 94%）、「自ら学び自ら考える姿勢が身に付いた」88%（R4 94%）、「学習の進め方がわかりやすく示されている」97%（R4 98%）、「添削指導はわかりやすい」85%（R4 92%）といずれも高評価を維持している。本校の指導が、生徒の自学自習を促す指導となっている。

2 キャリア教育の充実

- (1) 生徒会活動や特別活動等における自主的・主体的な活動の促進を図るとともに、ルールやマナーを尊重する指導等により社会性の向上を図る。
- ・学校行事の企画・運営において、生徒会執行部が活躍する場面が多くあった。生徒会活動時間への出席率も高く、安心して発言できる場となっている。今後も生徒が活躍する場を意識的に増やしていきたい。
 - ・アンケート(生徒)の肯定回答「生徒は学校行事に積極的に活動」は88%（R4 92%）だが、「私は学校行事に積極的に参加」では58%（R4 63%）だった。参加しやすい日程や内容の見直しとともに、参加を促す発信方法を工夫する必要がある。
- (2) 「進路の手引」を有効に活用して進路意識の高揚を図り、生徒の状況や希望に応じた進路指導を充実する。
- ・進路指導を必要とした全ての生徒への支援を検討・共有し、生徒が自ら動きだすよう働きかけることができた。
 - ・外部機関と連携し、サポステ・新卒応援ハローワークによる講演や卒業生による進路講演などを実施した。日曜校内サポステを目指し、サポステ職員による生徒面談を試行した。面談を希望する生徒も多く、就労につなげる第一歩となった。
 - ・社会的・職業的自立に向けての指導の在り方について教員研修を実施し、進路指導の心構えを学んだ。
 - ・進路ニュースは、必要な生徒に必要な情報が届くよう、見やすさ分かりやすさを追求した。
 - ・担任による生徒面談を頻度を上げて実施した。支援を申し出ることができない生徒に対応するために、ICT の活用を進めた。
 - ・アンケート(生徒)の肯定回答「進路決定に必要な情報提供」は80%（R4 85%）だった。進路情報は生徒に届いている。

3 安全で安心な学びの場づくり

- (1) 保護者や中学校、前籍校との連携により得た生徒情報を校内で共有し、的確な生徒指導及び支援を行うことで、問題行動の早期発見と早期解決、健康・安全に対する意識の向上、自己肯定感の高揚を図る。
- ・今年度受講生の情報の収集、整理・保管、共有を行い、支援に活用できる体制を整備できた。
 - ・SC・SSW 同席のもと、定期的にケース会議を実施した。外部機関の情報など、有益な助言をいただいた。
- (2) 学校HPや「操山通信」の充実を図り、通信教育実施計画など適宜情報を公開し、生徒・保護者や地域の方から本課程への理解と協力を得る。
- ・機関紙「操山通信」は、生徒への確実な連絡ツールである。生徒対象の調査では、「操山通信」を読んでいる生徒は83%（R4 91%）、学校生活で活用している生徒は98%だった。時間割が見づらい、行事予定がわかりにくいという回答もあり、文字量や配列の工夫が必要である。
 - ・アンケート(生徒)の肯定回答「HP は学校生活に役立つ」は93%（R4 94%）、「郵送物や掲示物等の情報提供は適切」は98%（R4 98%）だったが、紙もデジタルも情報量の多さが課題である。生徒に情報が届くよう、発信の仕方も工夫したい。
 - ・授業公開やオープンスクールを行っていないため、スクーリングの様子を知る機会がない。学校紹介動画を2本制作し、通信制の教育システムを説明するとともに、スクーリングの様子を紹介した。来年度も一層ホームページの充実を図るなど、情報公開・情報発信に努めたい。

2 学校関係者評価委員名

坂入信也（岡山大学教育推進機構教授） 劉 耕助（株式会社ベネッセコーポレーション中四国支社学校事業責任者）
渡部義仁（株式会社太陽堂代表取締役） 中江 岳（全日制 PTA 副会長） 東出麻子（全日制 PTA 副会長）

3 学校関係者評価

- ・毎日学校に行くことができない生徒が増えているので、通信制のニーズは高い。私立広域通信制高校への進学希望者が増加。
- ・操山の通信制のメリットがわからない。通信制の強みを整理し、ターゲットを絞ったPRが必要。卒業後どのような進路があるのか、卒業までにどのような支援があるのかわからない。進路実績を周知するなど、積極的に情報を発信したほうがよい。
- ・授業中、生徒の考え・意見を聞くためにも ICT のさらなる活用を進めるとよい。

4 来年度の重点取組（学校評価を踏まえた今後の方向性）

○確かな学力の定着 ○キャリア教育の充実 ○安全で安心な学びの場づくり

(ホームページ掲載原稿)

令和5年度 学校自己評価アンケート (生徒)

学校評価アンケート結果

集計人数 全体数(274) 1年次(44) 2年次(96) 3年次(101) 4年次(33)

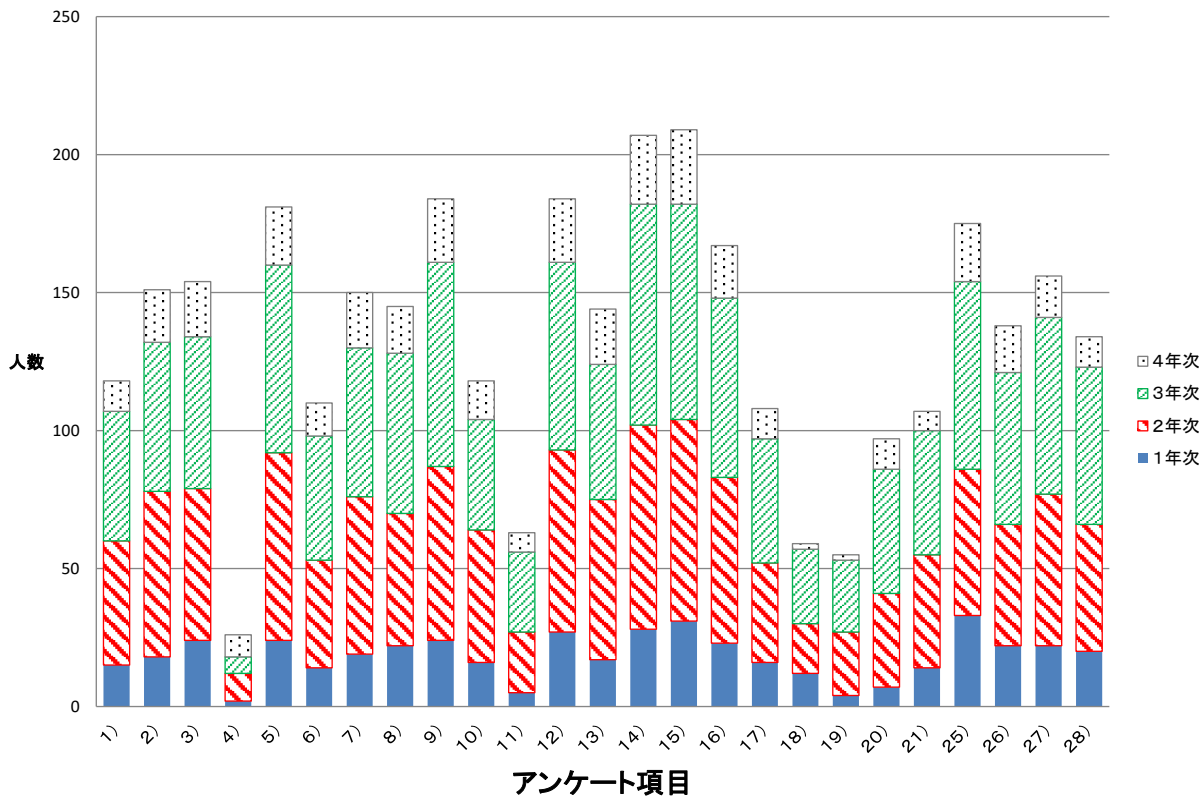
(生徒) R6.1実施

1: 当てはまる 2: やや当てはまる 3: あまり当てはまらない 4: 当てはまらない

数字は1と回答した実人数。

項目	アンケートの内容	1年次	2年次	3年次	4年次	全体比(%)
1)	通信制での学習によって、自ら学び自ら考える姿勢が身についた。	15	45	47	11	43.1%
2)	学習に対する自分の努力は正しく評価されている。	18	60	54	19	55.1%
3)	スクーリングに出席すると、大切な点がよく分かり自分の学習の助けになる。	24	55	55	20	56.2%
4)	放送視聴について NHK高校講座を視聴して、自分の学習を進めるうえで、有効な手段であった。	2	10	6	8	9.5%
5)	通信制課程でのスクーリングの受け方・レポートの提出方法等の学習の進め方が分かりやすく示されている。	24	68	68	21	66.1%
6)	添削指導は分かりやすくされているので、それを読めば自分一人では理解できなかった点もよく理解できる。	14	39	45	12	40.1%
7)	各回のレポートの学習範囲と設問の仕方は適当である。	19	57	54	20	54.7%
8)	各科目は基礎基本が大切にされていて、学習したことが身につくやすい。	22	48	58	17	52.9%
9)	科目を選ぶ際、自分の希望を伝えることができる。	24	63	74	23	67.2%
10)	各回のスクーリングの時間割は出席しやすくなっている。	16	48	40	14	43.1%
11)	学習室など自習室は自習(学習)しやすい。	5	22	29	7	23.0%
12)	郵送物や掲示物などの情報提供は適切である。	27	66	68	23	67.2%
13)	この学校では社会のルールや日常生活のマナーが大切にされている。	17	58	49	20	52.6%
14)	学校生活について分からないことがあれば、先生は気軽に相談に応じてくれる。	28	74	80	25	75.5%
15)	学校生活上の先生からの指導は理解できる。	31	73	78	27	76.3%
16)	学校行事はみんなが楽しめるように工夫されている。	23	60	65	19	60.9%
17)	生徒たちは学校行事で積極的に活動している。	16	36	45	11	39.4%
18)	わたしは学校行事に積極的に参加している。	12	18	27	2	21.5%
19)	各部活動の活動内容や成績などについて知っている。	4	23	26	2	20.1%
20)	卒業後の進路決定について、自分に必要な情報が提供されている。	7	34	45	11	35.4%
21)	郵送物に入っている「進路ニュース」や学校の掲示板に貼られている「進路情報」等を読んだり見たりしている。	14	41	45	7	39.1%
25)	ホームページは学校生活に役立っている。	33	53	68	21	63.9%
26)	ホームページの「科目の部屋」は、学習を進めるのに役立っている。	22	44	55	17	50.4%
27)	スマホ等で学習状況の記録を確認して、学習の計画に役立てている。	22	55	64	15	56.9%
28)	学校の施設・設備はきちんと点検され、壊れたところは適切に整備されている。	20	46	57	11	48.9%

項目ごとに1と回答した人数



令和5年度 学校自己評価アンケート（教員）

学校評価アンケート結果
集計人数 20人

（教員） R5.12実施

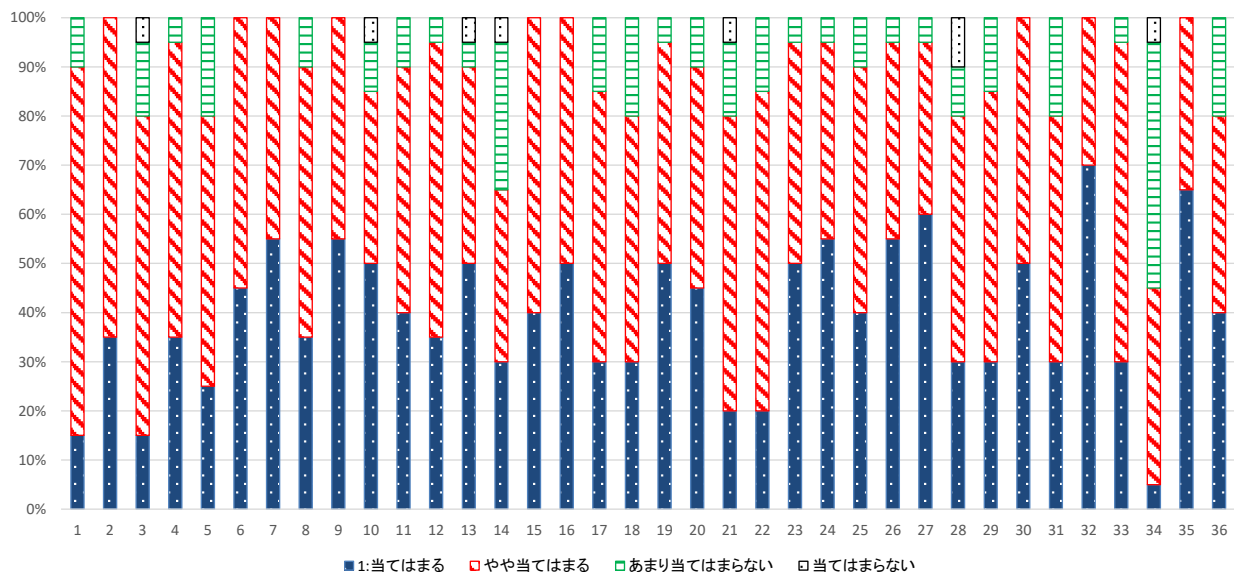
1：当てはまる 2：やや当てはまる 3：あまり当てはまらない 4：当てはまらない

数字は各項目で回答した実人数。

1：当てはまる 2：やや当てはまる 3：あまり当てはまらない 4：当てはまらない

項目	アンケートの内容	1	2	3	4
1)	学校の在り方や教育方針について教員間に共通理解がある。	3	15	2	0
2)	日常の教育活動についてお互いに気軽に話し合える人間関係ができている。	7	13	0	0
3)	校内組織の編成は適切で、有効に機能している。	3	13	3	1
4)	保護者や一般の方から学校への理解と協力が得られるように、情報公開を適切に行っている。	7	12	1	0
5)	行政機関や大学などと連携して教育活動の活性化に努めている。	5	11	4	0
6)	学校の方針や具体的な活動について同窓会に知らせ、行事等で連携を図っている。	9	11	0	0
7)	各教科の基礎基本をおさえ、確実に生徒に身につけさせる工夫をしている。	11	9	0	0
8)	自ら学び自ら考える力を養うよう指導している。	7	11	2	0
9)	学習の成果を正しく評価する工夫をしている。	11	9	0	0
10)	指導や評価の方法について、教員間で検討するための機会がある。	10	7	2	1
11)	教育活動が計画的に行われ、その成果と課題が次年度以降にきちんと生かされている。	8	10	2	0
12)	通信制での学習方法を生徒にとって分かりやすいものになっている。	7	12	1	0
13)	生徒の実態に合わせて教育内容を適宜見直している。	10	8	1	1
14)	学習を深めるために放送視聴を動めている。	6	7	6	1
15)	基礎基本を身につけることができるように、教材・問題の精選をしている。	8	12	0	0
16)	内容理解を助けるよう、分かりやすい添削指導をしている。	10	10	0	0
17)	教育課程の編成にあたって、教員間で十分に話し合いがされている。	6	11	3	0
18)	通信教育の特長を生かす教育課程が編成されている。	6	10	4	0
19)	各回のスクーリングの時間割は適切に編成されている。	10	9	1	0
20)	学習室には生徒の学習を促したり援助したりするのに必要な図書がそろっている。	9	9	2	0
21)	社会人としての自覚を高め、社会のルールや日常生活のマナーを実践できるように指導している。	4	12	3	1
22)	他人を思いやり自分を大切にすることを養うよう指導している。	4	13	3	0
23)	様々な機会をとらえ、生徒の相談には積極的に応じている。	10	9	1	0
24)	問題行動に対して、教員間で共通理解をもって指導している。	11	8	1	0
25)	多様な生徒に対し個々に応じた適切な対応や指導をしている。	8	10	2	0
26)	学校行事は総括ができている。	11	8	1	0
27)	学校行事を魅力あるものにするために工夫・改善を行っている。	12	7	1	0
28)	コンピュータ・インターネットなど情報機器を有効に活用した教育を実施している。	6	10	2	2
29)	教員のための必要な情報機器は十分に設置されている。	6	11	3	0
30)	ホームページは、生徒が学校生活を送る上で役立っている。	10	10	0	0
31)	ホームページの「科目の部屋」を生徒の学習支援に活用している。	6	10	4	0
32)	学習状況の記録をスマホ等から確認できるようにして、生徒のスクーリング・レポートの計画に役立っている。	14	6	0	0
33)	学校の施設・設備を点検し、壊れたところは適切に整備している。	6	13	1	0
34)	教室数・施設の規模は教育活動を行うのに支障がない。	1	8	10	1
35)	学校は、公文書の管理を適切に行っている。	13	7	0	0
36)	省エネ・省資源や経費削減に取り組んでいる。	8	8	4	0

教員 回答割合



令和5年度学校評価生徒アンケートへの協力ありがとうございました。集計結果と生徒のみなさんへの回答は次のとおりです。

学校自己評価委員会

アンケートの各項目に、1：当てはまると回答した人数についての結果は、学校ホームページに掲載しています。

教務課

生徒のみなさんが、前向きに学習に取り組んでいることを今年も確認できました。「学習室など自習室は自習（学習）しやすい」という項目で、肯定的意見が大きく低下しました。学習室内での私語が気になるという記述もありました。自習室を利用する皆さんにこの場を利用し、マナーを守ることを改めてお願いします。また次年度以降、自習室のマナー向上等を一層進めていきます。その他、自由記述欄に書いてくれた事柄についても教職員で情報共有しました。みなさんが自己管理能力を高め、自学自習が進むよう、これからも学校全体で支援を進めていきます。

生徒課

学校生活全般に関わる質問では、肯定的な意見が多数を占めました。一方で、「学習室や授業中での私語が気になった。」という意見もありました。生徒のみなさんが、安心・安全で落ち着いた雰囲気で学校生活を送ることができるよう努めていきます。生徒のみなさんも協力をお願いします。

生徒会行事では、生徒会執行部の主体的な企画・運営により円滑に実施することができました。来年度も引き続き、有意義な学校行事にしていきたいと思いますので、みなさんの参加をお待ちしています。

進路指導課

進路に関するいろいろな回答、ありがとうございました。「進路の手引」で、進学や就職に向けてどう考え、行動していけばいいのかを示しています。ぜひ進路を考える上での参考にしてください。（令和6年度版は受講手続きで配布予定）

卒業後の進路決定の参考になる情報は、学習室前・職員室前の進路指導課掲示板や、操山通信などの郵送物に同封する「進路ニュース」でお知らせしています。また、自分らしい進路の実現に向けて一歩を踏み出すために、自主活動の時間を中心に行われている年次の先生との面談をすることもできますよ。

※特に令和6年度卒業予定者で就職を希望する人は、4月28日（日）の進路HRで就職ガイダンスに参加しましょう。

保健委員会

今年度の健康診断は昨年、一昨年に比べて受診率が大きく向上しました。これも皆さんの「健康」に対する意識が高まったことであると感じています。自分自身の健康を自分自身で管理することは、今後生活していくうえで非常に重要です。これからも継続してもらいたいと思います。また、保健だよりなどでも「健康・安全」に関する情報を発信していこうと思います。是非活用してみてください。

特別活動委員会

2回目の校外研修を実施しました。スポーツ祭や芸術鑑賞なども、今まで以上によいものとなるよう工夫、改善をしています。「こうすればもっと楽しくなる」というアイデアがあれば、是非お知らせください。皆さんと一緒によりよい行事にしていきたいと思います。

教育相談室

教育相談室では、安心して高校生活を送れるよう、皆さんをサポートしていきたいと思います。「相談室」の部屋はありませんが、気軽に声をかけてください。また、次年度も年7回、スクールカウンセラーによる思春期サポート事業を行います。校内掲示でも案内していますので、ご利用ください。

ICT室

皆さんの回答を参考に、ホームページの内容の充実やGアカウントの活用を進めていきたいと思います。HPの「生徒専用」ページには、『操山通信』、『学習サポートブック』、『学習の手引』、『科目の部屋』など様々な情報が掲載されています。これ以外にも載せて欲しい情報があれば遠慮なく意見を寄せてください。Gアカウントからも自分の学習状況を確認できます。レポートやスクーリングの進捗状況を定期的に確認するようにしてください。スマホからの確認は機種によってたどり着きにくいこともあります。登校した時にでも聞きに来てください。（電話ではスマホの画面も見えないのでサポートしづらい。）

いじめ対策委員会

自分の言動で、相手がどのように思うかをよく考えましょう。特に自分が意図しない、軽はずみな言動により、思いがけないトラブルも起こるので、十分に配慮しましょう。困っている人を見かけた人は教員に声をかけてください。

事務室

学校の施設・設備の整備については、皆さんが快適に学校生活を送ることができるよう努めていきます。学習環境において、不備やお困りのことがあれば教えてください。